

大阪でも、「九条の会」ができる 泉佐野でも

「九条の会・泉佐野」結成に向けて 「呼びかけ人」からのひとこと2

呼びかけ人

- 岩本智之(環境問題研究家)
- 潮 虎平(歌人)
- 勝藤美男(建設業)
- 杉島幸生(弁護士)
- 関井正博(司法書士)
- 高道一郎(市職員労働組合執行委員長)
- 竹崎博一(市教職員組合執行委員長)
- 辻 正巳(元市社会福祉協議会会長)
- 中川公彦(医師)
- 福原英子(明浄女子短期大学助教授)
- 藤本文朗(大阪健康福祉短期大学教授)
- 松山 順(西方寺住職)
- 水野 喬(作家あおぎり二世の会)
- 向江 昇(元市長)
- 森 健一(関西大学教授)

作家あおぎり二世の会 水野 喬

なんともほんの数年前までは、こんなことは考えられなかった。急速に軍事国家へ走っている気がする。敗戦のとき小国民で、それ以後の苦勞も含めて、「戦争を垣間見た」私としては、「なぜ？」と聞きたい。

戦後民主主義で、戦争放棄の平和主義、軍力不保持の憲法を学んだものは、「なぜ？」と聞きたい。後世に、「お前は何をしたのだ」と問われたときに、胸を張って「九条の会で反対の意志を掲げた」と子孫に述べたい。

何か言ったら「非国民」呼ばわりをされるのは、戦争へ走った治安維持法下の、あの時代と同じだ。力に屈し、妥協妥協を重ね、ついに……。その手口で、戦争の悲劇を味わったのだ。こうしては行かないよ。モノを言う。何か、アピールしよう。

歌人 潮 虎平

私の弟は、太平洋戦争で十七歳で戦死しました。戦争は、どのような理由をつけても賛同できません。

連想は 血の彩にして夕焼けの海 帰らざる兵は 弟 火に焼かれ 戦に死にし 老若の

桂米朝さん 吉田玉男さん 藤本義一さんら

大阪府で九条の会



「赤旗新聞」より

「憲法九条改悪を阻止する一点で賛同を」九条の会・おおさかが二十五日、大阪府で発足しました。呼びかけ人はジャーナリスト

の大谷昭宏氏ら十四人。人間国宝の桂米朝(落語家)・吉田玉男(文楽人形遣い)両氏が、作家の藤本義一氏ら

の訴えたい」と語りました。同会は、昨年六月に作家の井上ひさし氏や大江健三郎氏らが呼びかけた「九条の会」アピールへの賛同者を大阪で広げようというもので、今後、大阪府内で百以上ある地域・職域の「九条の会」をつなげる情報を発信・交換することや、大規模集会の開催、意見広告を出していくなどを予定

しています。呼びかけ人は次の各氏。大谷昭宏(ジャーナリスト)、桂米朝(落語家)、鬼道明天(元日弁連会長)、清史彦(真宗大谷派瑞興寺住職)、小山仁示(関西大学名誉教授)、新野新(放送作家)、杉山平一(詩人・映画評論家)、津村明子(大阪府生活協同組合連合会会長)、直木孝次郎(大阪府立大学名誉教授)、藤本義一(作家)、松浦信郎(日本カトリック正義と平和協議会会長)、宮本憲一(大阪府立大学名誉教授)、森南海子(デザイナー・随筆家)、吉田玉男(文楽人形遣い)

あなたも「九条の会」賛同者になってください

ご協力頂ける項目に○をつけて、下記までご返送ください(ハガキに貼り付け又はFAXで)

- 1 賛同者になり、氏名を公表してもよい
- 2 賛同するが、公表できない

お名前

ご住所

TEL

FAX



「九条の会」泉佐野に発足



泉の森ホール前を行進する参加者

「ユースせんなん」より

戦争の放棄・戦力の不保持・交戦権の否認を掲げた「日本国憲法第二章第九条戦争の放棄」から日本の未来を見つめようと、ノーベル賞作家の大江健三郎氏が昨年六月から提唱しはじめた「九条の会」。全国的な結成が進むなか、泉佐野にも「九条の会・泉佐野」が発足した。

五月七日、泉の森ホールで行われた結成総会には、同市在住の水野喬氏(作家・被爆あおぎり二世の会)など約十五名の呼びかけ人をはじめ市民ら百五十人以上が参加。講演に